

令和4年度肝炎対策懇話会 会議概要

1 日時

令和5年2月2日（木）午後6時から午後7時まで

2 場所

県防災庁舎2階共用会議室2-1（プレスルーム）

3 出席者

（委員）

永田賢治委員、蓮池悟委員、小牧斎委員、弘野修一委員、園田千草委員、見附香世委員、山鹿明委員、森我月委員

（事務局）

健康増進課課長補佐、健康増進課がん・疾病対策担当職員

4 会議概要

(1) 令和4年度宮崎県肝炎対策事業実績について

（資料1により、事務局から実績報告）

○ 委員より以下のような発言があった。

- ・ 宮崎市の特設健診の受診率の状況として、全体的にコロナの影響で大きく下がっているような傾向ではなく、受診の意志がある方は、タイミングを見計らって受診していると思われる
- ・ 延岡市では、令和2年度に集団健診の規模を縮小したこともあり、令和2年度、3年度と受診者が減ったが、令和3年度は令和2年度と比べて少し持ち直したところであり、できるだけ受診するよう受診勧奨を行っている

(2) 全国健康保険協会における肝炎ウイルス検査について

（資料2により、森委員から報告）

○ 委員より、コロナによる令和2年度、3年度の生活習慣病予防健診受診者数への影響について問いがあり、健診については事業所が申込み、対象者が受けることになるので、個人の動向の影響はなく、例年と変わらず受診いただいている状況であると思われる旨回答があった

(3) 宮崎大学医学部附属病院肝疾患センターにおける肝炎対策研究事業

（資料3により、永田委員から説明）

○ 委員より以下のような発言があった。

- ・ 若年層にも一定の陽性者がいるということが分かったので、妊婦健診における肝炎ウイルス検査と同様に若年男性が健診を受ける機会を作り、若年層の陽性者を治療へ結びつけられると良い
- ・ 肝炎医療コーディネーターがいる医療機関等は、院内でのポスターの貼り出し等により積極的にPRすることで、患者が安心して受診できるようになると思われる
- ・ 市町村は肝炎対策担当課と妊婦健診担当課が分かれており、連携が充分にとれていなかったため、妊婦健診の肝炎ウイルス検査陽性者に対する精密検査の受診勧奨について、今後連携して取り組めるような仕組みづくりを検討したい

(4) その他

○ 委員より以下のような発言があった。

- ・ 肝炎ウイルス検査の受診者を増やすため、検査の無料化は一つの手段ではないかと考える
- ・ 宮崎県の協会けんぽの加入者は医療従事者も多いので、数字には上がってこないけれども実際は肝炎ウイルス検査を受診済み、という方もいるのではないかと感じているので、実際に一度も受けたことがない方がどの程度いて、その方々へどのように啓発したら良いか、というところが課題であるとする
- ・ 県民は、県の肝炎対策の取り組みについてほとんど知らないので、マスコミを最大限に活用し、積極的な周知を図っていただきたい
- ・ 令和4年6月にB型肝炎治療のガイドラインが更新され、B型肝炎ウイルスのキャリアの妊婦の母子感染について、出産時感染については新生児へのワクチン接種により予防できるが、胎盤感染についてはワクチンでは予防できないため、核酸アナログ製剤を内服することが推奨された。このことについて、対象者への周知等、情報発信をお願いしたい